

## 献辞

氏家伸一先生は、二〇一七年三月末をもって本学をご退職なされ、同年四月本学名誉教授になられました。法学部教員一同から先生への敬愛と感謝の念を込めて、本号を献呈申し上げる次第でございます。

氏家先生は、一九四七年四月一七日宮城県にお生まれになり、一九七〇年三月神戸大学法学部をご卒業後、京都大学大学院法学研究科修士課程を経て、京都大学法学部助手、同大学大学院法学研究科博士課程単位取得後、同研究科研修生ののち、一九八三年神戸学院大学法学部講師に就任されました。その後同大学助教を経て、一九九一年同大学教授に就任されました。

氏家先生は、四〇数年にわたる研究生活をヨーロッパの近現代政治思想史に注がれ、とりわけ政治社会学者のロベルト・ミヘルスの政治思想の発展の追跡に取り組んでこられました。氏家先生の研究への意欲はなお盛んで、ご退職後も本誌へのご投稿は続いております。

氏家先生は研究の傍ら本学での法人・大学・学部行政にも、そのお力を発揮してくださいました。一九九九年には図書館長、二〇〇五年には学校法人神戸学院評議員、二〇〇七年には法学部長、学校法人神戸学院理事および神戸学院大学学長補佐、二〇一〇年には神戸学院大学入学センター所長、二〇一四年には神戸学院大学入試問題副委員長、二〇一五年には神戸学院大学入試問題委員長をそれぞれ歴任されました。このような激務の中にあっても、氏家先生は時間を見つけてはテニスをたしなまれていたようです。

誠に氏家先生のご活躍ぶりには、頭の下がる思いでいっぱいです。

氏家先生におかれましては、今後、益々ご健勝であられ、ご活躍をお祈り申し上げるとともに、引き続き、ご指導・ご教授を賜りますようお願い申し上げます。

法学部長 田中裕明